

## 当院で間質性肺炎を疑い SP-D 検査を受けられた患者さんまたはご家族の方へ(臨床研究のお知らせ)

国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床検査科では、日常診療の質向上を目的とし、臨床検査法の開発や改良など、さまざまな研究を行っております。この研究活動の基礎となるのが、臨床検査を終了した残余検体や検査記録の再利用です。残余検体、検査記録の再利用に当たっては、近畿中央呼吸器センター治験・受託研究審査委員会承認のもとに行っております。

これまでに、残余検体・検査記録を用いた研究からは多くの知見が得られており、臨床検査法の進歩は、医学の発展や診療の質の向上に繋がってきました。当科では、治験・受託研究審査委員会により承認された研究計画に基づき、臨床検査を終了した残余検体、検査記録の一部を再利用することにより、臨床検査法の改善を行い、医学の発展等に寄与したいと考えています。

本研究は、臨床検査後の廃棄予定の残余検体および検査記録を使用するため、患者さんの生命・健康に影響を及ぼすことは一切ありません。氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報が漏れることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響することはありませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることは一切ありません。

なお、臨床検査を終了した残余検体、検査記録の臨床研究への利用にご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、担当者までご連絡ください。

### 【研究課題名】

サーファクタントプロテインD(SP-D)測定試薬「ナノピア SP-D」の基礎的性能評価

### 【対象試料】

通常診療で採血された SP-D 検査のオーダーがあった残余検体(血清)

### 【被験者に関する事項】

- (1)患者情報: 検体採取日、本項目の測定結果以外は収集しない。
- (2)匿名化: 被験者情報は匿名化して管理する。

### 【研究実施期間】

研究許可日 から2025年3月31日

### 【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床検査科

部長 清水 重喜(しみず しげき)

技師長 大西 秀行(おおにし ひでゆき)

住所:大阪府堺市北区長曾根町 1180

電話:072-252-3021(代表)

072-252-3023(夜間・休日)